

津軽地区物流フォーラム 参加者アンケート集計結果

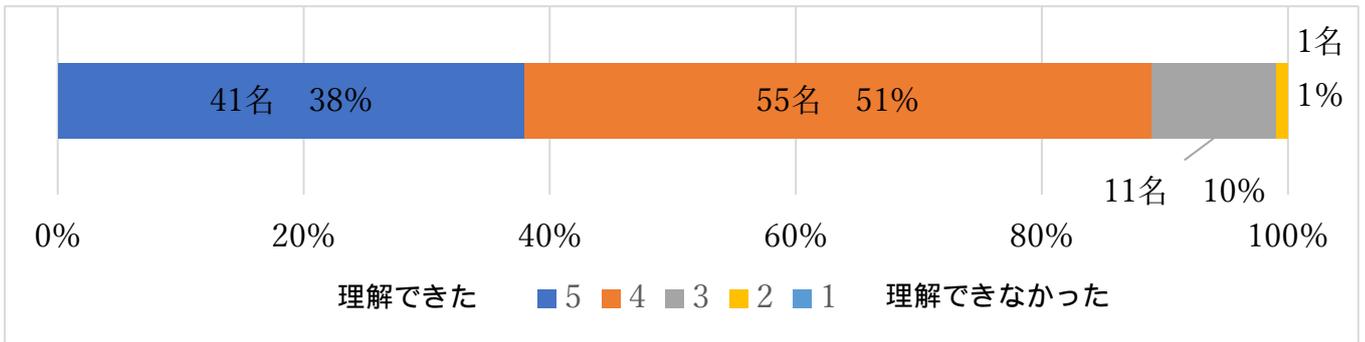
フォーラム当日、皆様にご協力いただきましたアンケート結果を集計しました。

津軽地区物流フォーラム「物流の2024年問題を考える」開催概要

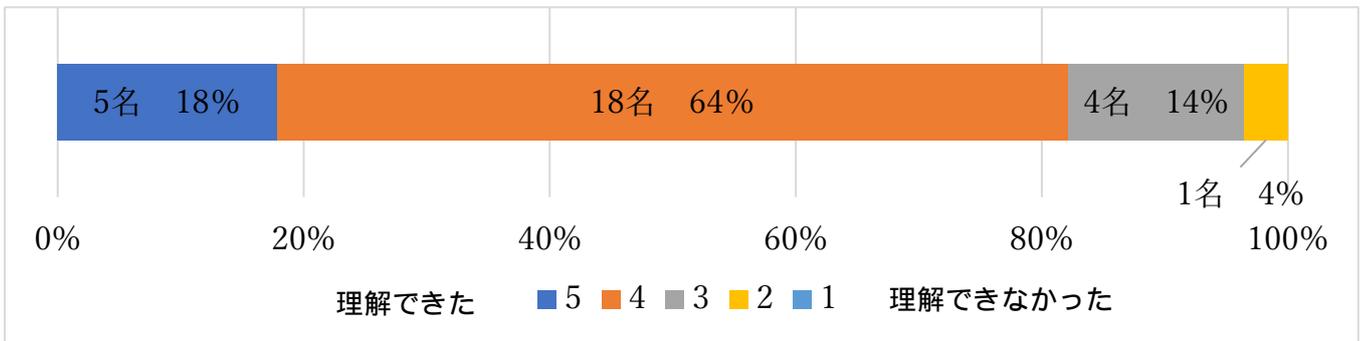
開催日時	令和5年8月28日(月) 13:00~16:00
開催場所	弘前市民会館 大ホール(弘前市下白銀町1-6)
主催	公益社団法人青森県トラック協会青年部会
後援	国土交通省 青森運輸支局 厚生労働省 青森労働局 弘前市 弘前商工会議所
プログラム	第1部 テーマ 「2024年問題/ドライバー不足問題への対応」 講師 NX総合研究所 常務取締役 大島 弘明 様 第2部 テーマ 「2024年問題に関する関係法令」 講師 国土交通省 東北運輸局 テーマ 「2024年問題に関する関係法令」 講師 厚生労働省 青森労働局 テーマ 「物流分野における適正取引の推進」 講師 公正取引委員会 東北事務所 プレゼンテーション 「物流の2024年問題を考える」 プレゼンター 青森県トラック協会弘前支部青年部会 部会長 川口 晃司
参加者数	荷主企業等 111名 運送事業者 100名 行政機関 24名

1. 津軽地区物流フォーラム全体の理解度

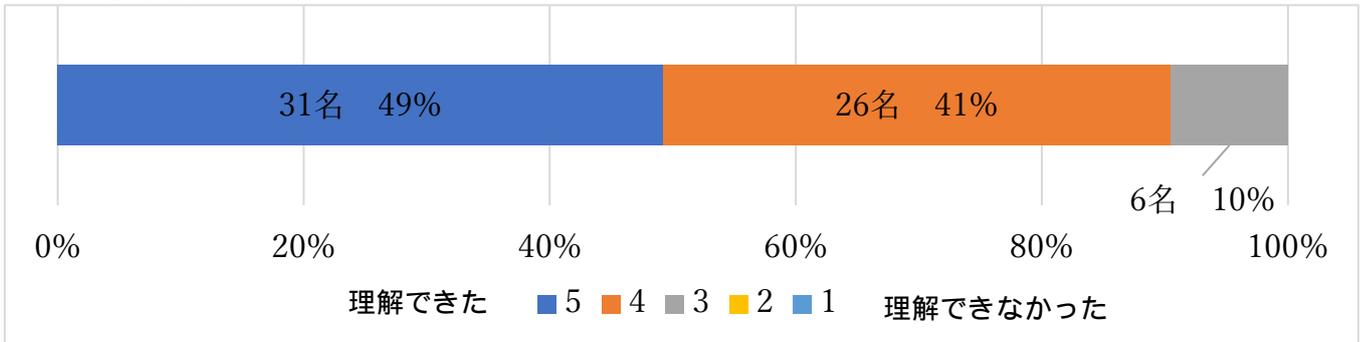
参加者全体



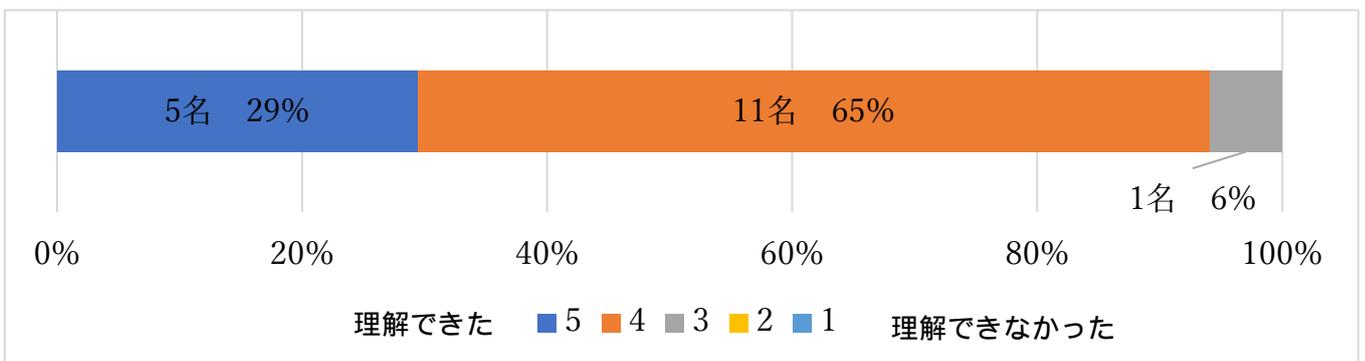
荷主企業等



運送事業者

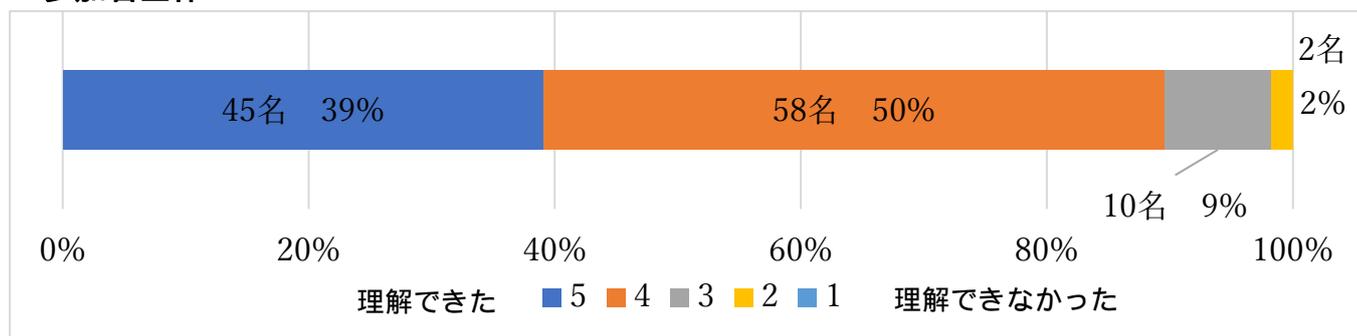


行政機関

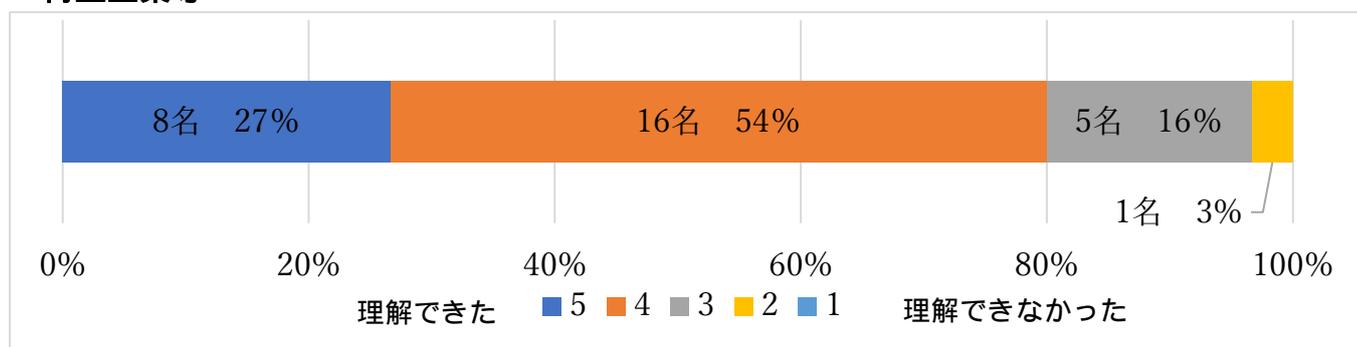


2. 第1部 NX総合研究所 「2024年問題/ドライバー不足問題への対応」の理解度

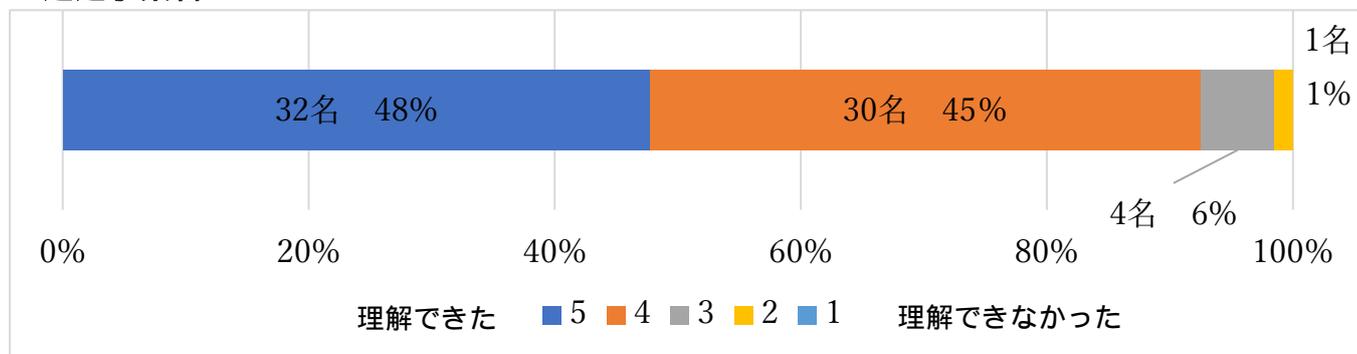
参加者全体



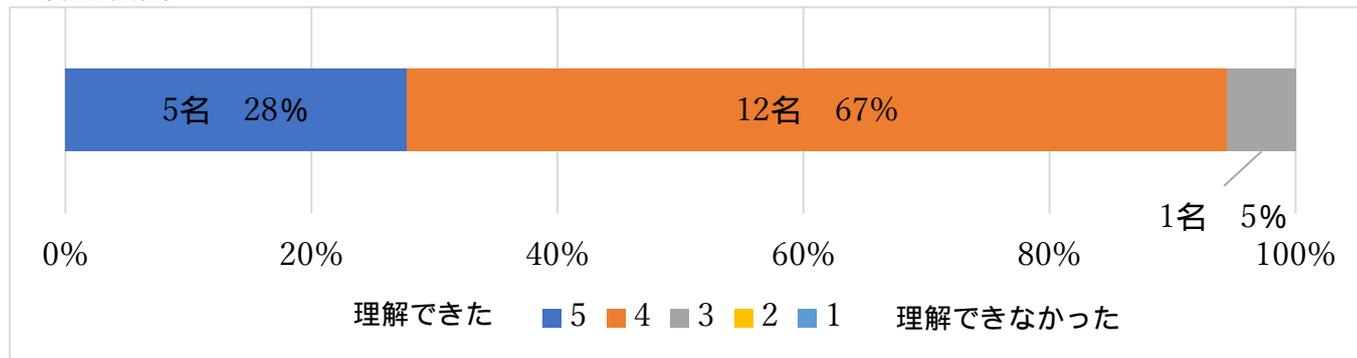
荷主企業等



運送事業者

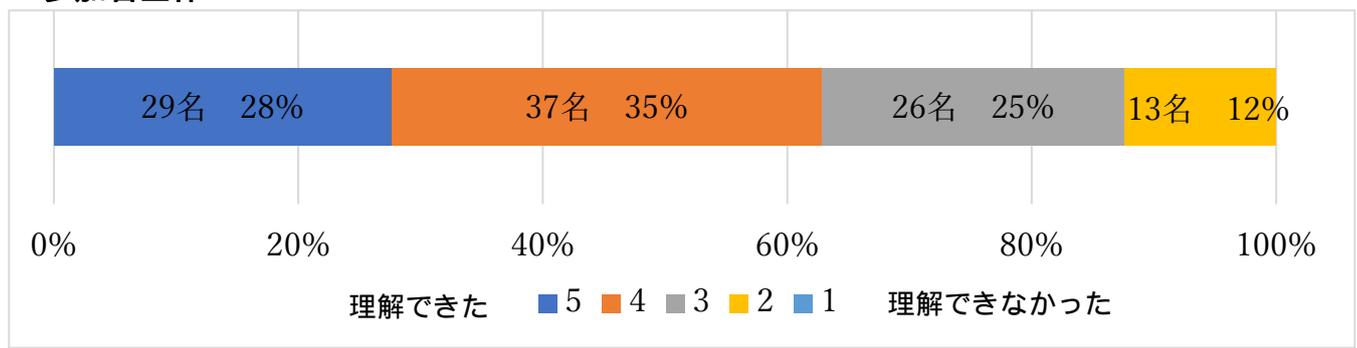


行政機関

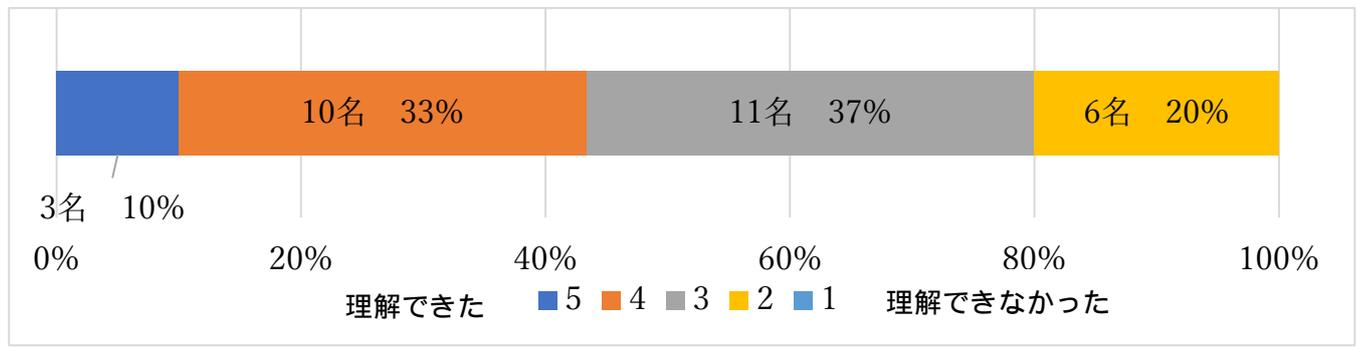


3. 第2部 東北運輸局 「2024年問題に関する関係法令（運送事業法令）」の理解度

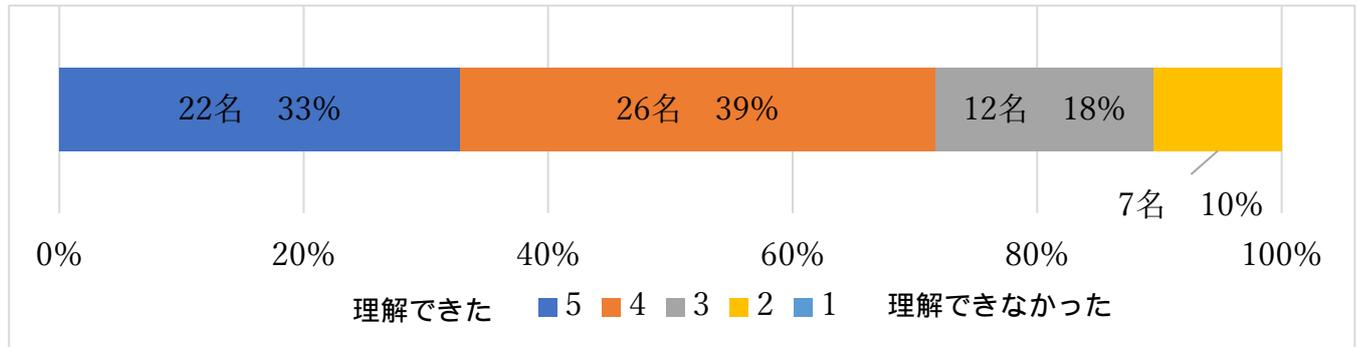
参加者全体



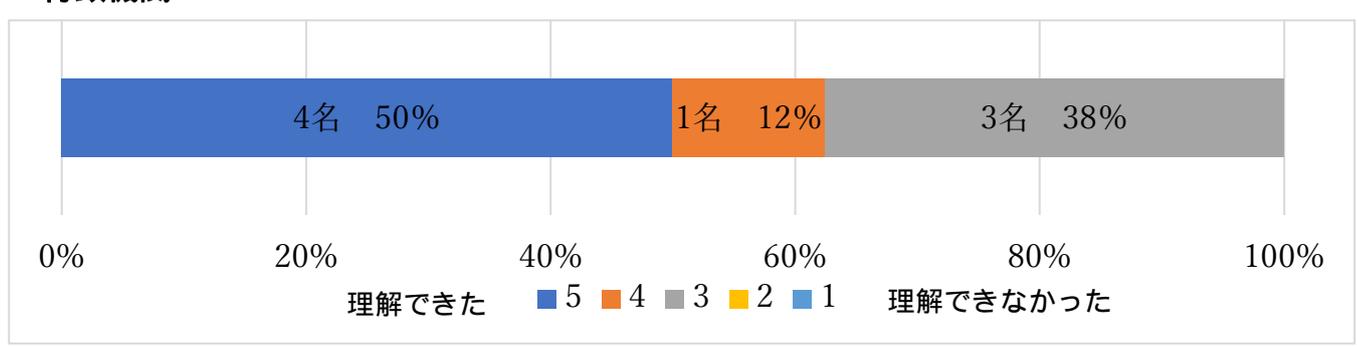
荷主企業等



運送事業者

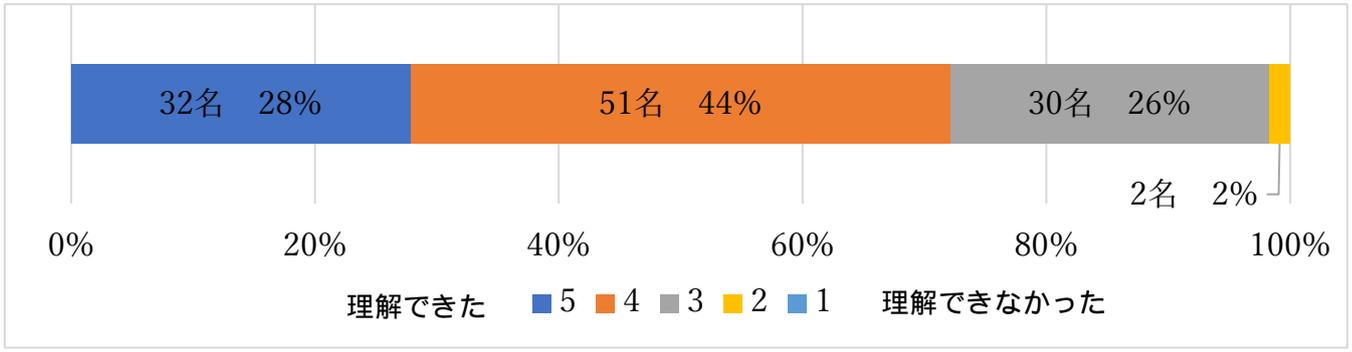


行政機関

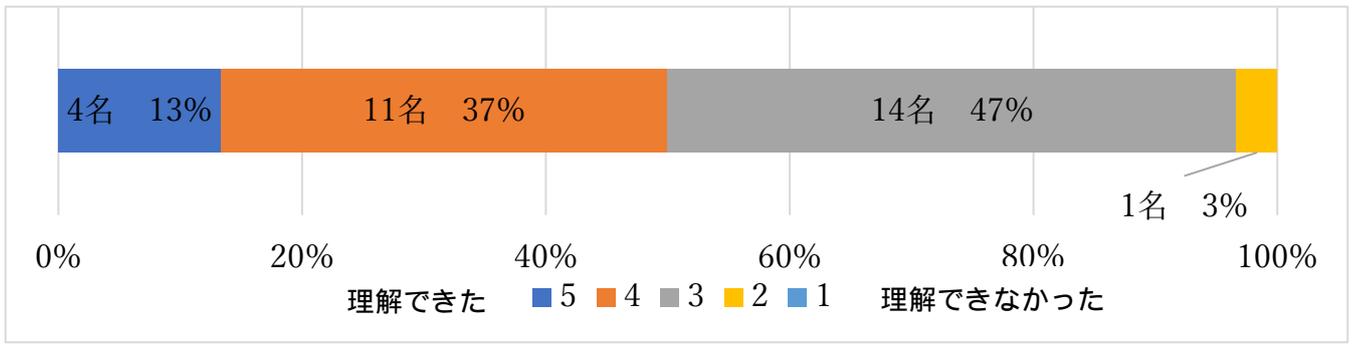


4.第2部 青森労働局 「2024年問題に関する関係法令(労働関係法令)」の理解度

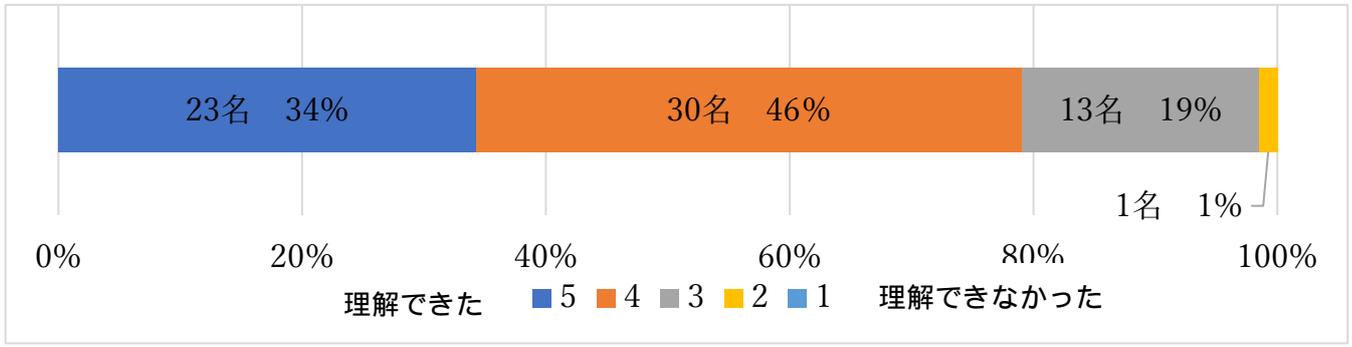
参加者全体



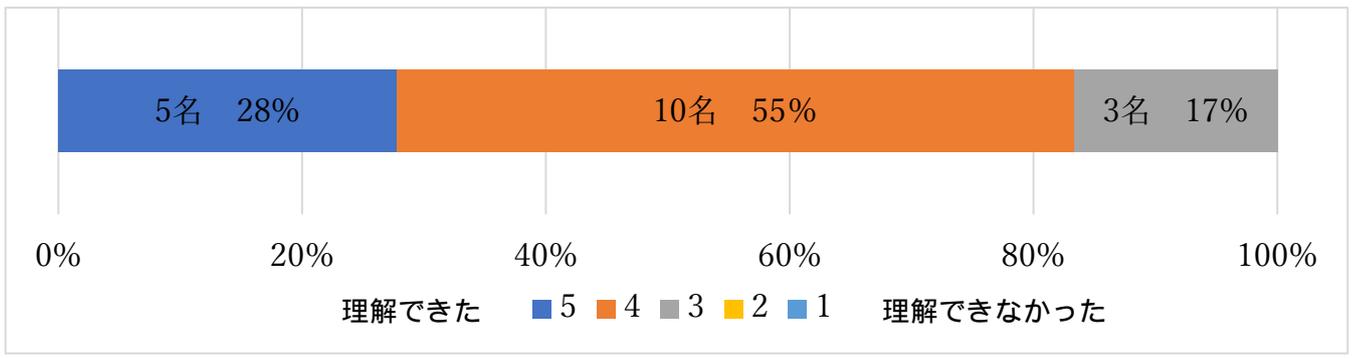
荷主企業等



運送事業者

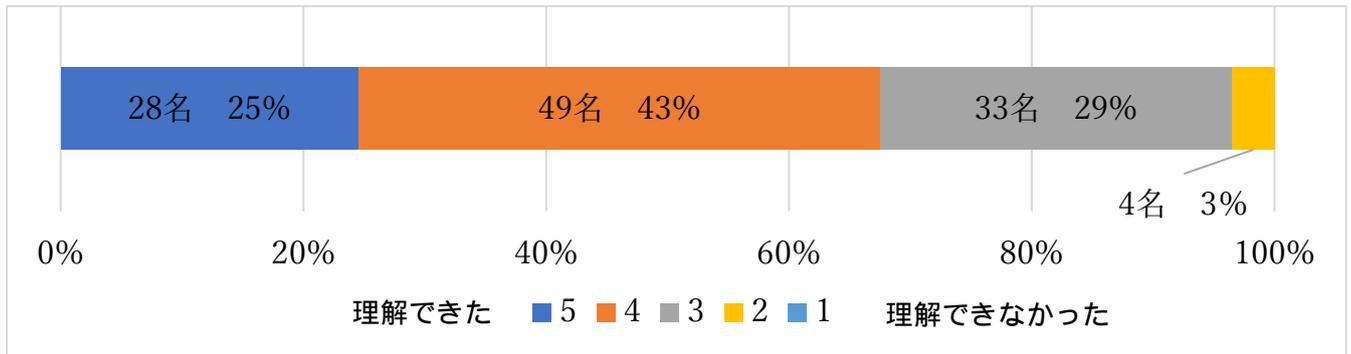


行政機関

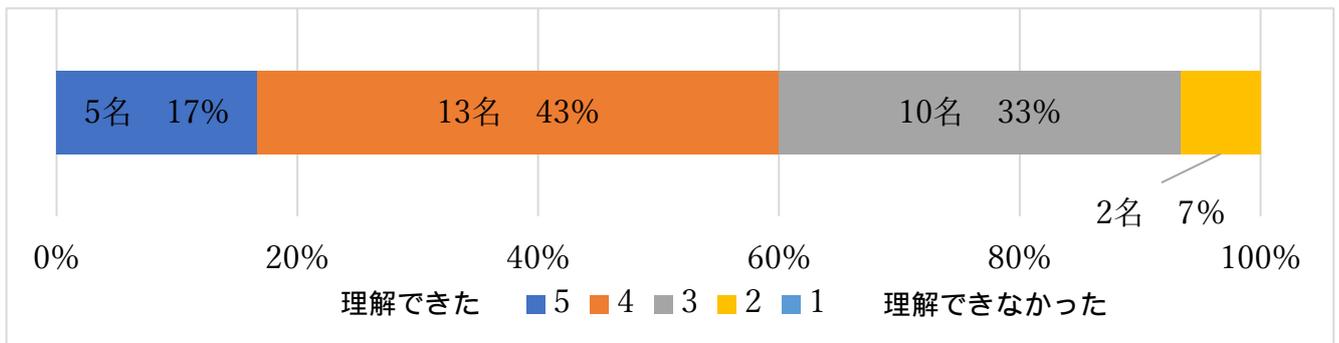


4.第2部 公正取引委員会「物流分野における適正取引の推進」の理解度

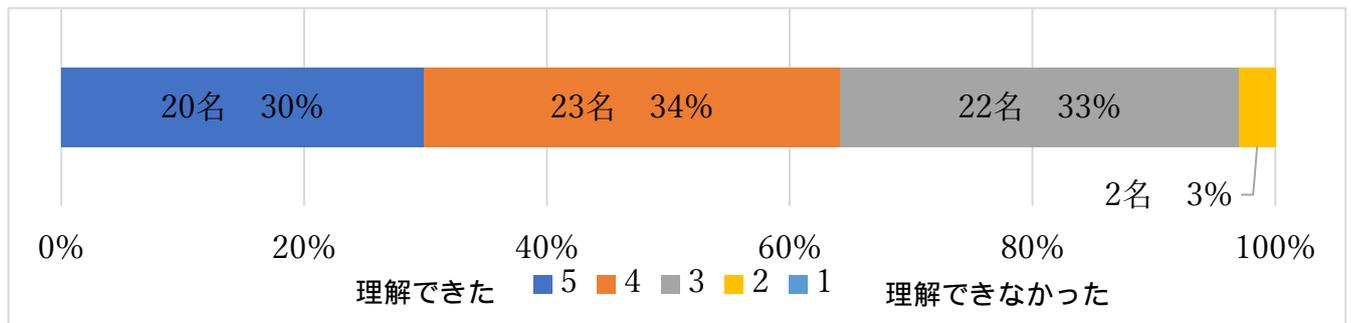
参加者全体



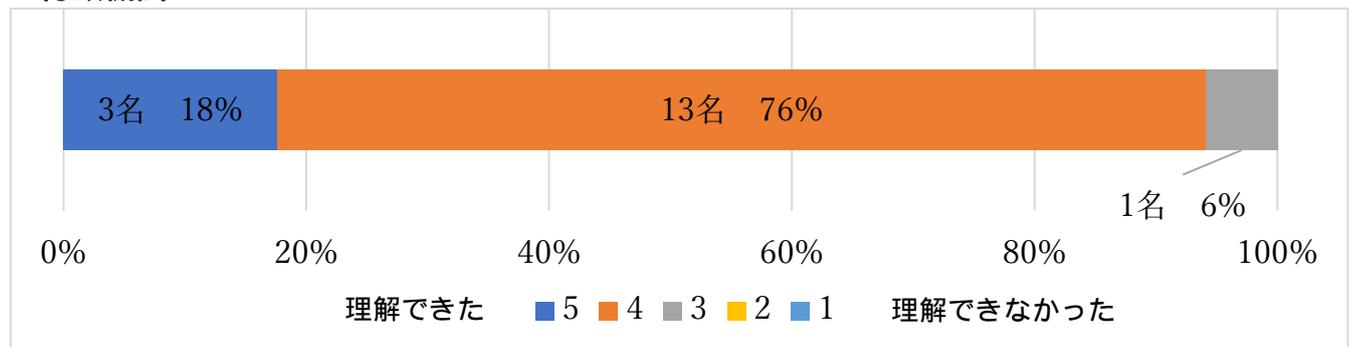
荷主企業等



運送事業者

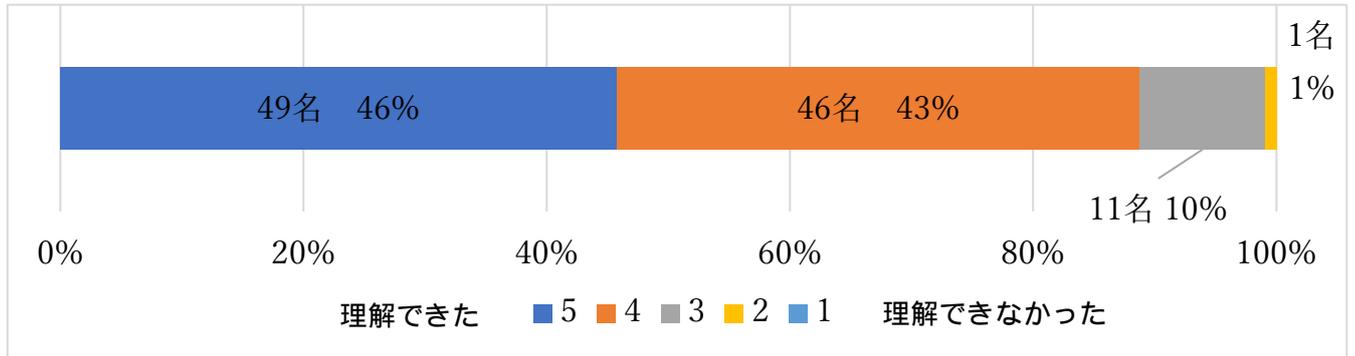


行政機関

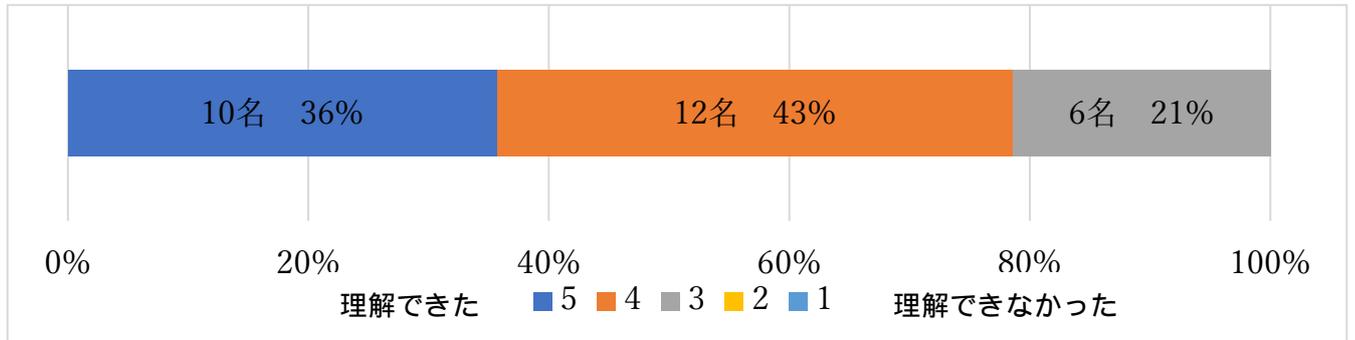


5. 青年部会プレゼンテーション「物流の2024年問題を考える」の理解度

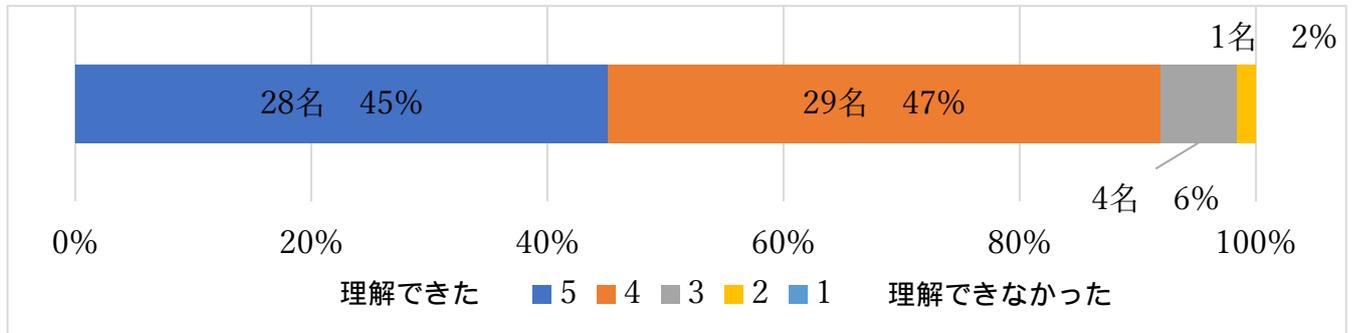
参加者全体



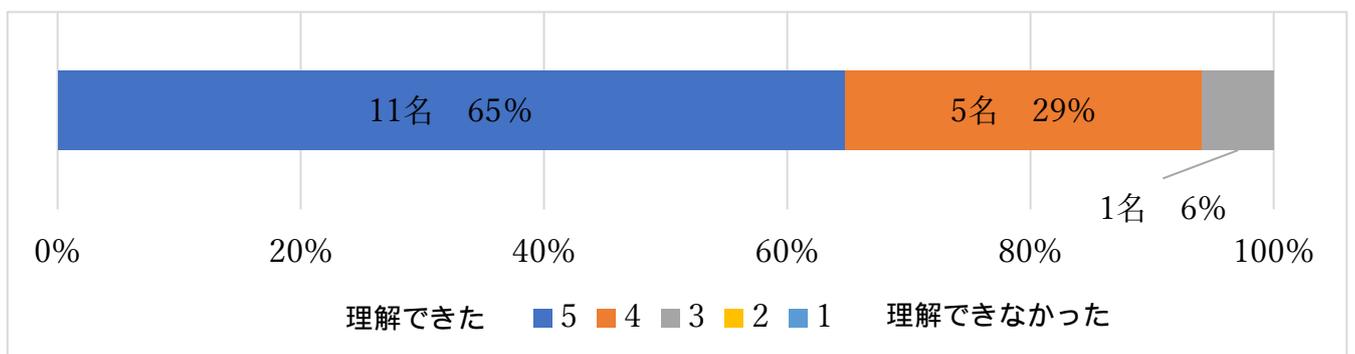
荷主企業等



運送事業者



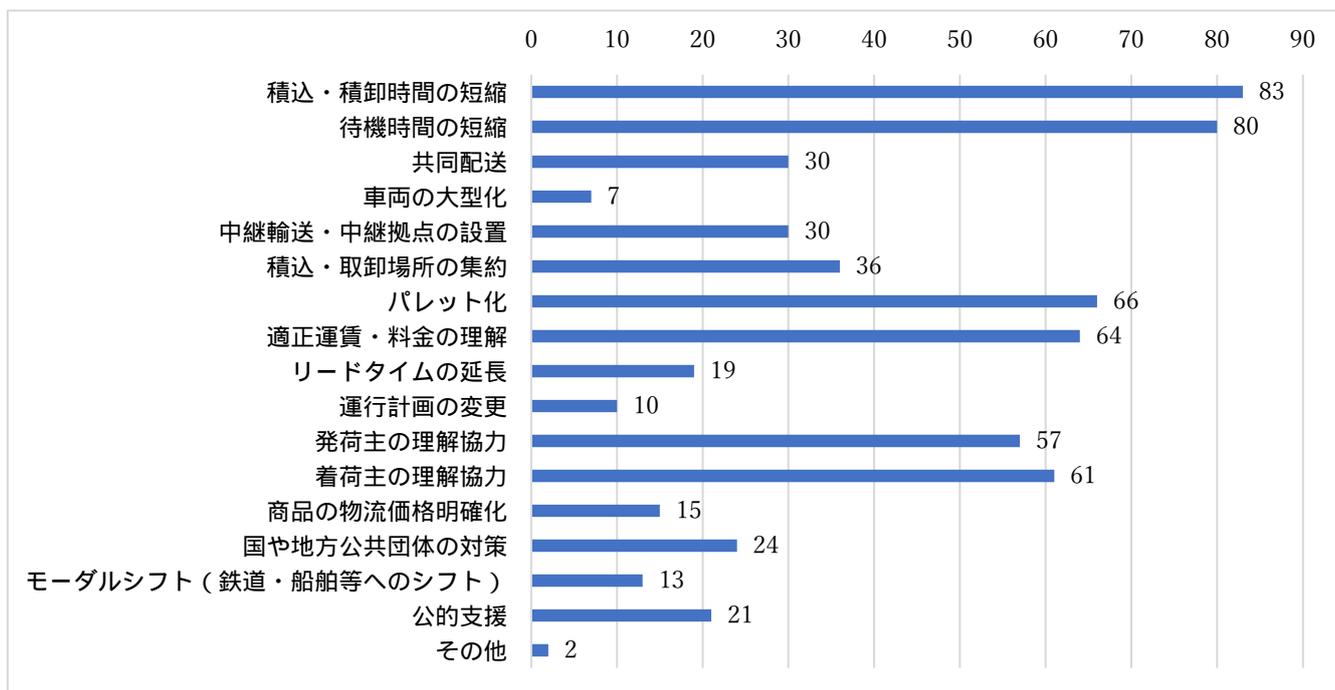
行政機関



6. 2024年問題の対策として考えられる対策についてのアンケート結果（複数回答）

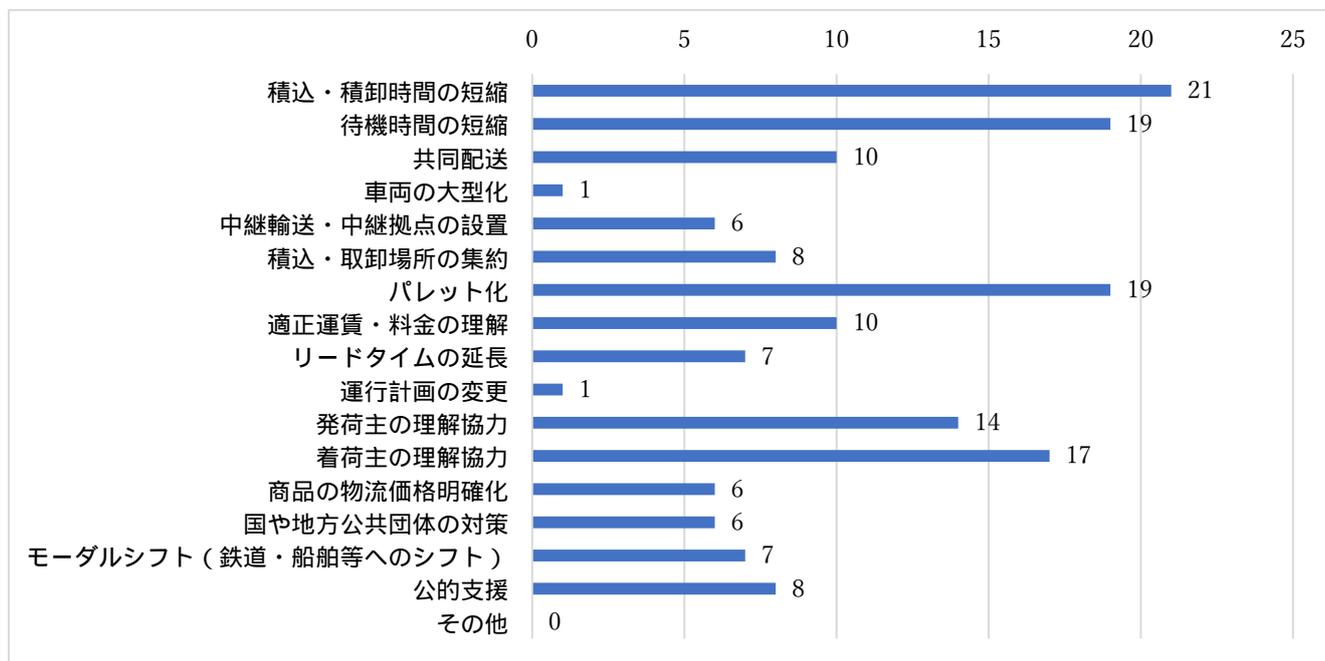
参加者全体

（回答者数：156）



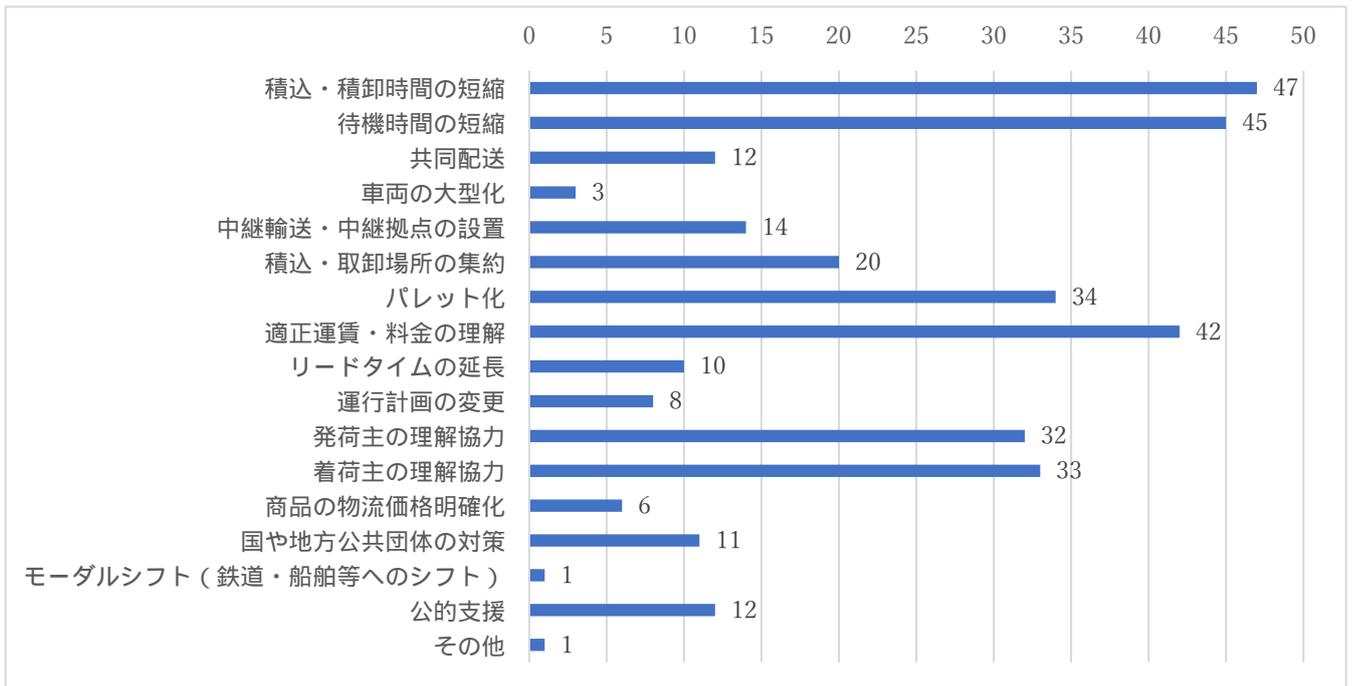
荷主企業等

（回答者数：71）



運送事業者

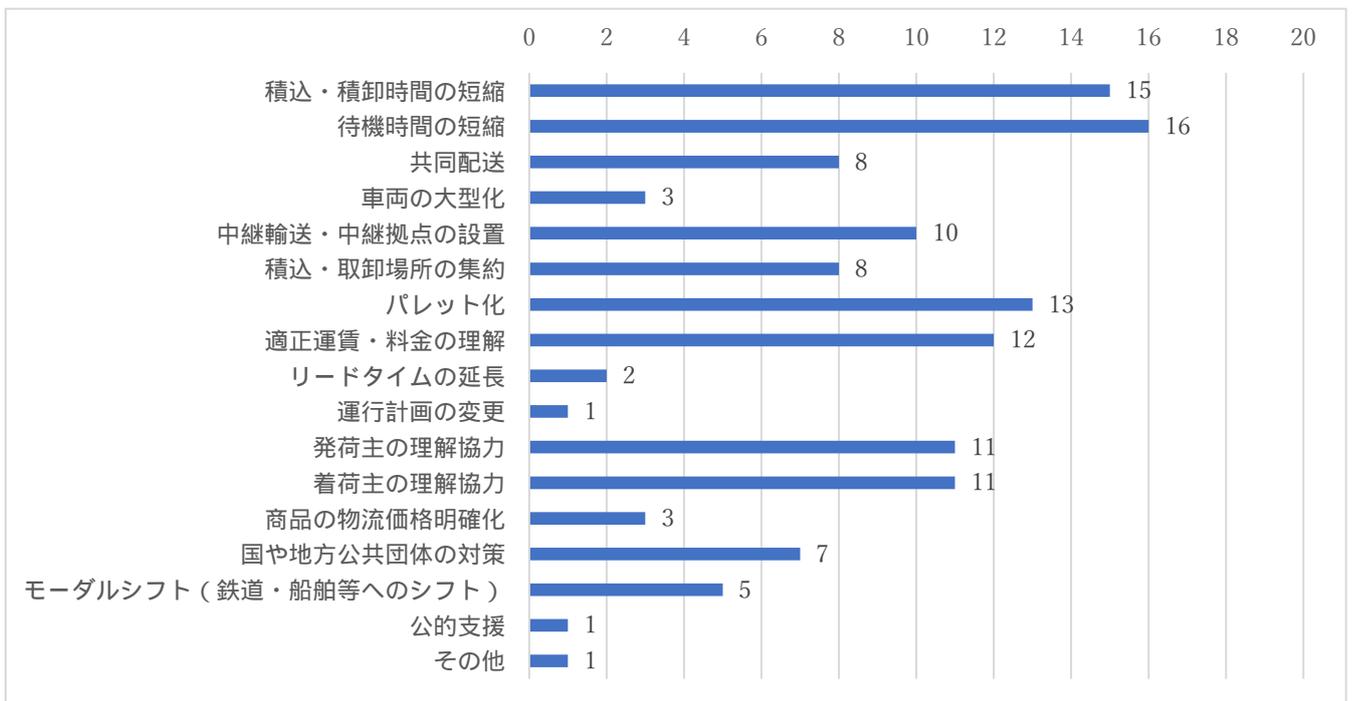
(回答者数: 67)



運送事業者 その他の回答(高速道路料金の負担)

行政機関

(回答者数: 18)



行政機関 その他回答(業界で共同の取組、ダンピング業者の減少(=カルテルの除外)個々の意識改革)

7. 津軽地区物流フォーラム全般のご意見・ご感想

荷主企業等

- ・積込、積卸時間の短縮が大事と思う。
- ・非常に有意義であった。一般消費者も含め、幅広く影響が及ぶ問題であることから、一般消費者を含め、社会全体の理解、関心を高めることが必要。業界内に限らず、周知、問題提起が必要と感じました。
- ・「叩くのは価格ではなく会話の扉」良いフレーズでした。
- ・地方卸売業者として、今後の市場運営について様々な知見を得ることが出来ました。
- ・年内にもう一度、意見交換などやってほしい。
- ・全国一律の施策ではなく、消費地からの距離など実態に沿った対応をしてもらおうよう、県内関係者が一体となって要請していかなければならないと思う。発荷主側はパレット輸送等を進めているが、着荷主の理解が足りていない。発荷主から細かな説明をしなければならない。
- ・具体例もあり、分かりやすかった。
- ・出先企業だけでは荷主への理解を得られない事から、政治的施策、支援、国土交通大臣から先頭を切り、2024年問題を企業、国民へ発信して頂きたい。日本の物流の為に。
- ・荷主企業として、パレット化、積込時間短縮の取組みに、ここ数年当社も進めてきました。しかしながら、関東への配送については今後も、運送会社と協議していきますが、物流コストをそのまま、商品価格に転嫁して競合他社と勝負になるのか、頭がいたい状況です。
- ・青年部会様、プレゼンテーションで、運送事業所さんの実情を知ることができ、大変参考になりました。また第1部、第2部の先生方の話も、普段なかなか聞く機会がないお話でしたので、もう少し時間をかけてじっくり聞きたい内容でした。
- ・業界内では話題となって大きな問題である認識を持っていたが、世間一般への周知が不足していると感じる。結果、2024年になってパッシングを受けかねないのでは。
- ・運賃を下げようとする荷主への罰則などの対応が必要と思う。聞く所によると、一般的な荷主は、2024年問題は全く頭になく、とにかく運賃を下げようとする人がまだまだいるとのこと。ただそれ（運賃値上）を要求することで仕事を外されることもある。
- ・参考になりました。荷主、親事業者の認識を改める必要を確認しました。荷待ち、荷積込等の料金を明確にし、価格転嫁をすることが必要と感じました。
- ・運送業者のみでは、この2024年問題の解決は難しく、荷主企業の協力が必要不可欠なことを学ぶことができました。
- ・わかっている様で、詳しくわかっていなかった事があり、わかることができたので、大変良かったと思います。
- ・2024年問題とは、運送事業者の問題とと思っていましたが、荷主企業、行政機関等、一緒になり考えていかなければならない問題であった。

運送事業者

- ・今回だけではなく、また開催してほしい。
- ・大島さんの内容をもっと深掘してもらいたかった。多岐にわたりすぎだと感じた。もっと時間をとってもらいたかったです。
- ・2024年問題を考える上で、講師の方々の説明内容はとても分かりやすく、よく検討されたものであった。今後は、それぞれの時間配分をしっかりと行うともっと良くなると思います。
- ・知っている体でお話されていると思いました。点数が低いのはそう感じた所です。
- ・とても有意義なフォーラムだったと思います。2024年4月まで何度も繰り返し、社会全体の理解が進んでいけばと思っております。関係者の皆様には感謝いたします。有難うございました。
- ・今回の物流フォーラムのような会を開いてもらいたい。
- ・適正運賃の交渉時、自社から他社運送会社への移行がなければ話も進めやすいが、荷主としては少しでも運賃が安ければいいと考える方もいる。
- ・青年部の方々、ありがとうございました。説明、良かったです。
- ・運送業だけでなく、荷主と一緒に講演を聞け、とても理解を深められて、良かったと思います。プレゼン、とても分かりやすく良かったと思います。ご苦労様でした。ありがとうございました。
- ・荷卸等を行う際、運転手あるいは、外注にて運送事業者で行っている場合、夜間帯に荷主側の人がいらない事は問題ないのでしょうか。
- ・よく理解できました。来年(2024年4月)に向けて進めていきます。
- ・大変参考になりました。

行政機関

- ・課題を改めて、一つ一つ理解することが出来ました。行政から必要な応援ができるように、今後も現場の意見を伺い致します。
- ・物流の2024年問題の課題、原因などが理解できた。運輸局様の資料の字が小さくわかりにくかったが具体的な事例はわかりやすかった。

公正取引委員会の説明は非常に大切な内容。説明が早口のため、理解する前に置いていかれる。初めて聞く人にもう少しゆっくり丁寧にしていただければ理解が進むのでは。(比較的専門的な内容が多く慣れ親しんでいない)

プレゼンは物流事業者の生の声が聞けて有意義。荷主や一般の人の理解のためにフォーラム等、広報に力を入れて欲しい。

- ・荷受け、運送業の協力は不可欠だが、消費者の理解を得ることに力を入れるべき。そうでなくても物価高騰が続いている中、2024年の施行からコスト上昇分の上乗せも考えられる。流通～消費者の流れの中にある者が、よく理解すべきだと思う。

正直なところ、今日の講演では(即)改善に結びつく案はなかったような。本当に難しい課題であると再認識した。特に大消費地から遠い青森県にとっては大きな問題であることを、せめて共通認識できるようにした方が良く思う。

- ・荷主側の意識(これまで通りで良いということではなく)の改善、物流の効率化を具体的に進める必要があるととても感じました。法令等の面で丁寧な説明などは、公的機関の働きかけも必要。これまで、お互いに慣習的にやってきたことを、この機会に明確な基準で整理すべき。効率化で対策できることがたくさんあるように感じました。
- ・2024年問題の解決は容易ではないと考えております。法を遵守したうえで、できることを進めながら、業界の状況についてしっかりと発信することが重要であると思えます。
- ・大変貴重なお話を聞けて、とても勉強になりました。物流業界についての知識が不足していたため、参加できて良かったです。
- ・大変貴重なお話ありがとうございました。物流の基本を勉強することができ、大変ありがたかったです。待機時間の短縮をアプリやデジタルツールを利用して進めていくなどできるのではないかと考えております。ぜひ、行政との連携もご検討いただければ幸いです。
- ・物流2024年問題への対策の重要性を再認識することができました。津軽地区物流フォーラムを開催くださりまして、誠にありがとうございます。物流2024年問題への対策として、モーダルシフトにあたる「八戸港を経由した船舶輸送」の利用促進を図るため、関東エリア等まで、トラック輸送をしている津軽地区の貨物がございましたら、ぜひとも八戸港の利用をご検討いただきたいと思いますと考えておりますので、情報共有等くださいますと幸いです。